

未来へ

～ 想いつないで ～

## 発刊に寄せて

新谷さんとのお付き合いは、二十年近くになります。大阪日本橋の複合ビルの押し花教室の案内板を見つけて来て下さいましたね。

ほどなくして土曜日の自社ビルでの個人レッスンが始まりました。交通量の多い日本橋一丁目の交差点を過ぎた辺りで待っておりますと、颯爽とクラウンでお迎えに来て下さいました。

新谷さんはファッションや流行に敏感です。色使いの感性などフィードバックが私と合ったのでしょうか？ 長いお付き合いになりました。

さすが経営者と思うのは、決断力と行動の早い事です。押し花の作業では、パーツを沢山作る時など手際よくこなされました。そして芯の強さはピカイチですが、感心するのは、明るく弾んだ声で電話に出られる事です。長い付き合いで、何度となくかけていますが、それはずっと変わりません。私が岡山に転

居して十一年、相変わらずお付き合いは続いております。  
エッセイは二冊目、そして二回目の押し花の作品展は新作で開催される予定です。

最後に三度目の股関節の手術の後に詠まれた、新谷さんらしい力強い短歌をご紹介します。

我立てり

両足踏みしめどっしりと

地球の上に 今我立てり

令和元年八月吉日

野崎 敏子



神秘のダンス (270 × 350 mm)



神さまの贈り物 (220 × 520 mm)

オーロラ

絶えず変化して ひとときも とどまらない  
まるで力強い生きもののよう……

誰かを追いかけているの？



花てまり恋てまり (300 × 230 mm)



マッターホルンを望む (310 × 400 mm)